

平成21年度科学技術関係施策 および重点事項について(案)

平成20年7月23日
厚生労働省

厚生労働省の科学技術研究の推進の基本的考え方

平成20年度
 科学技術関係予算 1364億円
 うち
 厚生労働科学研究費補助金 428億円

- (1) 介護予防の推進や障害のQOL向上等 17億円 ※
- (2) 生涯を通じた女性の健康の向上・次世代育成
5億円 ※
- (3) がん予防・診断・治療法の開発 65億円 ※
- (4) 生活習慣病対策、免疫・アレルギー疾患の克服、
難病のQOL向上 66億円 ※
- (5) 新興・再興感染症対策等の充実 60億円 ※
- (6) こころの健康の促進 19億円 ※

臨床研究の推進 148億円 ※

健康安心の推進
 (健康寿命の延伸)

基本計画に
 基づき施策
 を推進

先端医療の実現

- (1) 先端医療実現のための基盤技術の開発 84億円 ※

- (2) 臨床研究(治験)基盤の整備の
推進 50億円 ※

安全・安心で
 質の高い健康
 生活を実現

第3期科学技術基本計画 分野別推進戦略

■戦略重点科学技術

- 「臨床研究・臨床への橋渡し研究」
- 「標的治療等の革新的がん医療技術」
- 「新興・再興感染症克服科学技術」 など

■研究開発の推進方策

- 「臨床研究推進のための体制整備」
- 「安全の確保のためのライフサイエンスの推進」 など

厚労省が主体的に取り組むべき分野の研究及び体制
 整備の一層の充実を図る。

健康安全の確保

- (1) 医療等の安全の確保
30億円 ※
- (2) 食の安全の確保
18億円 ※
- (3) 健康危機管理対策の充実
5億円 ※

理念の実現、
 戦略の推進
 に貢献

※ 金額は全て平成20年度予算額

平成21年度「資源配分方針」のポイント

◎重点化を図るべき分野

【最重要政策課題】(抜粋)

・革新的技術

例) ・心機能人工補助装置技術 ・iPS細胞活用毒性評価技術 ・感染症ワクチン開発技術(マラリア)

・科学技術外交

・社会還元加速プロジェクト

例) ・失われた人体機能を補助・再生する医療の実現
・高齢者・有病者・障害者への先進的な在宅医療・介護の実現

【第3期科学技術基本計画における戦略重点科学技術】

◎「革新的技術推進費」の創設とその機動的運用

◎府省の枠を超えた一体的な施策の推進

◎革新的技術を継続的に生み出す環境整備

◎研究開発力強化法を受けて、研究開発資源の効率的活用等の取組を強化